



Joyful Naturalist

Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

- Topics * 源流でのこれまでの取り組みと今後
* めだか池生きもの図鑑完成
* 第17回鶴見川源流祭の案内
- NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。
- 鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。
- 3月、4月の活動報告
- 5月、6月の活動予定

No.157

★HATSの集い・源流ウオーク&ミニシンポジウム



第5回まちだ市民大学『HATSの集い2007』が3月17日～23日に開催されました。まちだ市民大学が開校して以来、講座等を支援してきた私たちは、期間中の各会場でのパネル展示とともに、3月18日(日)には「鶴見川源流の現状と回復、北部丘陵の今後」をテーマとした「源流ウオーク&ミニシンポジウム」を企画・実施しました。

当日の源流ウオークの参加者は20名。npo法人鶴見川源流ネットワークが町田市から受託して再生をすすめている最源流の森を一巡し、見事に整備された谷戸山の道をたどり、澄んだ空気の中、キブシやコブシの花、富士山の眺望も堪能しました。

午後のミニシンポジウムでは、慶応大学教授の岸由二先生に源流保全の歴史・経過を、和光大学助教授の堂前雅史先生に岡上保全の経緯と現状を話していただき、その後、農業や地元との関係、自然の維持管理の方策等について一般参加者を含め真剣な議論を交しました。

現場を歩き、源流ネットの活動と成果の大きな歴史を振り返る、貴重な一日となりました。

【報告：小林美晴・深見】